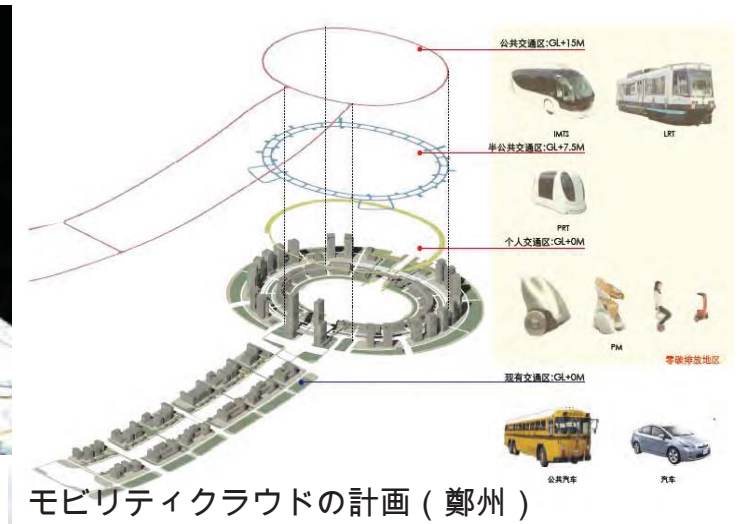
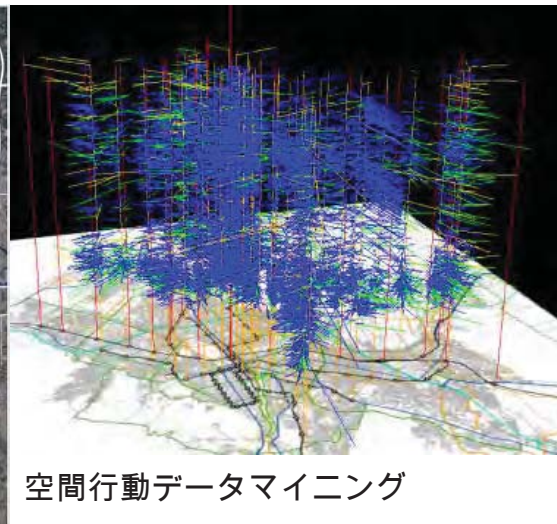
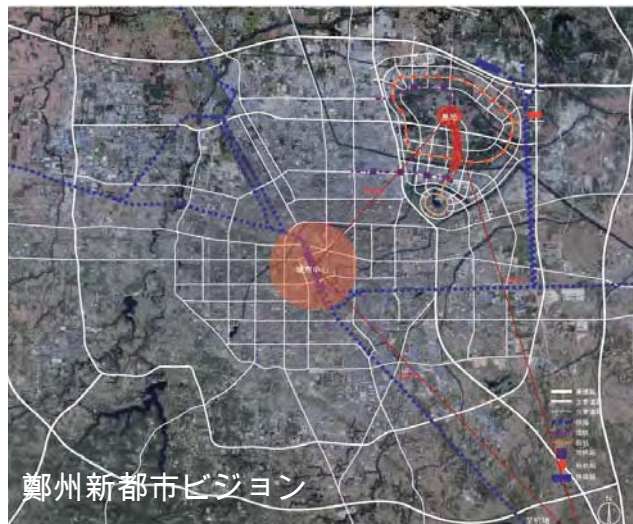


# 東京からアジアへ：次世代インフラによるSustainability

- 災害や都市構造の転換を前提とした次世代インフラマネジメント、新材料・エネルギー・モビリティ戦略に基づいた**次世代インフラ研究**の実践（**+30億と-3000万への対応**）



# 個人的に重要だと思っている 国際的な研究のトレンド

1. モビリティクラウド研究(自動運転, 画像処理, 予測技術)
2. ロジスティクス-サプライチェーンマネジメント研究(最適化理論)
3. 人-インフラ系動的制御研究(大規模インフラセンシング技術)
4. 都市行動-投資政策理論研究(マルチスケールの政策実装理論)
  
5. 計数/応数(Operations Research / Applied Mathematics)
  - シーズとニーズの邂逅をデザインすること
  - 次世代インフラに関する基礎学問領域の確立(信玄堤からNavier-Stokes equationsへ)
6. 社基-建築-都市科学研究センターの設立
  - アジア展開型インフラと世界展開インフラ(精度保証付インフラ)
  - 社会実装研究の重要性(仕事の進め方, プロジェクト研究)
  - 急がば回れ: チーム編成のバランスと問題設定が重要(化学や機械, 情報との連携)

## おまけ

- 「まちづくり」, 「広域連携」, 「専門家」の壁
- 東京オリンピック社会実装(オリンピックレーンなど)を生かすこと
- アジア次世代インフラ研究センター, アーバンデザインセンター<sup>16</sup>など